



市議会だより

第87号

2025 (令和7) 年11月10日発行

Topic 1 こんなことが決まりました
9月の定例会

Topic 2 市のお金の使い方をチェック
決算審査

Topic 3 先進的な取組を調査
行政視察レポート

市議会の情報は
ここでチェック！



マチイロ

電子版も読めます！



▲秋季例大祭の巫女の舞（和知八幡神社）

令和7年9月定例会では、 こんなことが 決まりました

9月1日(月)から26日(金)まで開催

議案24件及び発議2件を可決、
報告3件を承認、請願1件を採択と
しました。今回はその中から3つを
紹介します。その他の議案等につ
いては、下記のQRコードからご覧
になれます。



議案の内容は
こちら



意見書等は
こちら



補正予算は
こちら



議案第65号 三次市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

「こども誰でも通園制度」が始まります

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため創設された新たな通園制度です。

- 利用対象者** 三次市内に住所を有する0歳6か月から満3歳未満の未就園児
- 利用時間数** こども一人当たり月10時間まで
(1時間300円)



議案第68号

三次市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

マイナンバーの利用対象事務を 条例に追加しました

地方公共団体のシステムの統一により、住民票がない人（住登外者）に番号を付けて管理する事務についても、マイナンバーを使うことが決まりました。これを受けて、三次市においても関係する条例の改正を行います。

住登外者とは？

三次市の住民基本台帳に登録はないが、行政サービス上、記録しておく必要がある人のこと。



議案第72号

三次市堆肥センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

「三次市堆肥センターさくぎ」を 関係条例から削除します

「三次市堆肥センターさくぎ」について、施設の利用実態がなくなったことから、市の行政財産としての役割を終了し、普通財産へと変更することになりました。これに伴い、施設の名称及び所在地を「三次市堆肥センター設置及び管理条例」から、名称及び所在地を削除するものです。

普通財産とは？

市の業務目的に使われなくなった財産で、売却・貸付など多様な用途に活用できる。



今定例会で審議した一般会計にかかる議案の中から
主な事業をご紹介します。

現年災害公共土木復旧事業

3,500万円

令和7年7月の大雨による道路災害の復旧工事を行います。



国際交流事業

50万円

本市出身でアフリカ北西部にあるモーリタニア・イスラム共和国で、たこ壺漁を普及させ、経済の発展に貢献された方の絵本を作成し、子どもたちの国際感覚を磨くとともに、絵本を通して、その方の国際活動を周知するため市内学校へ配布します。



小中学校トイレ洋式化事業

200万円

教育環境の充実及び災害時の避難所の生活環境の充実を図るため、三次中学校校舎のトイレ洋式化工事に係る実施設計を行います。

広域避難場所整備事業

590万円

三次市ハザードマップにおいて浸水想定区域となっている市街地に居住する住民が、自家用車等で安心して避難できる広域避難場所を高平地区に整備するための実施設計を行います。

ため池緊急整備事業

860万円

ため池廃止工事に伴う下流水路の整備及び低水位管理を行うための改修を行い、大雨時の安全確保を図ります。

パブリックコメントを募集します

この度、議会へ多様な人材が参画できる環境づくりの一環として、「(仮称)議会関係ハラスメント根絶条例」の制定を目指しています。この条例は、議員のハラスメントはもちろん、議員や議員になろうとする者へのハラスメントについても根絶をめざすことを目的としています。

三次市民の誰もがハラスメントの根絶に向け、努力をすること、その責務について規定しようとするものです。

このことに関し、皆さんからの意見をお聞かせいただくために、来年1月上旬から市のホームページ（三次市議会）上でパブリックコメントを行います。

市議会だよりの
タイトルロゴが
生まれ変わる!?

現在、市内3つの高校にご協力いただき、市議会だよりのタイトルロゴを考案中です。

どんなタイトルロゴが出来上がるのか、乞うご期待!

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で各常任委員会に審査付託となった議案等について、
9月8日～10日に各委員会を開催しました。

産業建設常任委員会 9月8日開催

【付託議案】

議案第72号「三次市堆肥センター設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）」

【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決
【議案に対する意見】

該当する施設を、将来的に廃止、解体することではあるが、今後需要が無いとも限らない。新たな活用希望がある

総務常任委員会 9月9日開催

【付託議案】

議案第66号「三次市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（案）」ほか5議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第86号「損害賠償の額を定めることについて」は、本事例のように、想定外の倒木があることも踏まえなが



倒木による車両物損事故

ら、今後も市の施設全般における再発防止対策に万全を尽くされたい。



報告をする鈴木委員長
(産業建設常任委員会)

るとするならば、それについても、十分に対応されたい。

教育民生常任委員会 9月10日開催

【付託議案】

議案第65号「三次市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（案）」ほか2議案

請願第1号「小規模特認校制度について」

【審査結果】

議案第65号ほか2議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

請願第1号 全員一致をもって採択

【議案に対する意見】

議案第65号については、「こども誰でも通園制度」は、子どもの育ちの応援を主な目的に創設された制度である。市民ニーズや地域バランスを考慮し、対象施設の拡大を検討されたい。併せて、この制度の目的に沿った利用となるよう、積極的に周知されたい。

【請願審査の要旨】

請願第1号について、提出者からは、私たちの要望というのは、この小規模特認校を希望する地域において検討、また設置をお願いしたいというものである。これまでも、小規模特認校にかかる、ある程度の道筋を示してほしいと要望をしてきた。やはり一定程度の判断材料があれば議論もできない。未だに議論する材料がないという状況が、われわれ当事者を不安にし、混乱させている。小規模特認校をどう設置していくのか、早急に概要を明らかにしていただくよう、市民



請願提出者への質疑（教育民生常任委員会）

の代表である市議会から市行政に対して働きかけをしていただきたい。という願意に賛同し、採択とした。
（※紙面の都合上、要旨を掲載しています。）

各委員長
報告の全文は
こちら



決算審査

令和6年度決算を認定

一般会計・特別会計など8会計を審査

【付託議案】

議案第74号「令和6年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」ほか7議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり認定

令和6年度の
決算内容については
こちら



予算決算常任委員長報告

【決算認定に対する指摘及び意見】

総務分科会

『地域の未来づくりアドバイス事業』

報告 今後も専門的な支援体制の継続が必要である。

自由討議 この事業は令和6年度をもって終了しているが、これからのまちづくりにおいて、大きな変化が生じてくる中で、相談や助言ができる専門的な支援体制の継続が必要である。

産業建設分科会

『プレミアム付商品券（三次藩札）発行事業補助金』

報告 地域経済の活性化、小規模事業者の事業継続という観点からの意見。

自由討議 プレミアム付商品券（三次藩札）は、店舗にとっても購入者にとっても、双方に利益のある仕組みとなっているが、三次藩札の換金時の割合を地元事業者とそうでない事業者との差別化を図るなど、地元の

教育民生分科会

『三次市教育委員の報酬』

報告 現状の教育委員会会議の出席率についての意見。

自由討議 教育委員の出席率が県内自治体と比較して低い状況であることについて、分科会での議論があった

小売店が潤うといった目的に重きを置いた事業となるよう検討が必要である。プレミアム付商品券の購入についても、ICTの活用を含め、あらゆる世代の市民がより購入しやすい仕組みや利便性の向上についての検討が必要ではないか。
（※紙面の都合上、要旨を掲載しています。）

今定例会から新たな取組として、「分科会討議シート」を取り入れました。これは、次年度の予算編成等に対する執行部へ提言を行うため、各分科会で事業を1つ選び、その事業の成果・評価に対する意見、今後の改善が必要と思われる点について委員で話し合い、まとめた意見をもとに作成するものです。



委員長報告をする藤岡委員長

◆各会計の決算状況

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		415億9,039万1,345円	404億5,327万8,063円	11億3,711万3,282円
国民健康保険特別会計		50億3,033万3,418円	50億909万2,576円	2,124万842円
診療所特別会計		2億8,973万8,524円	2億8,954万8,913円	18万9,611円
介護保険特別会計		68億9,754万3,267円	68億2,171万1,171円	7,583万2,096円
後期高齢者医療特別会計		9億8,081万6,249円	9億6,177万5,753円	1,904万496円
土地取得特別会計		1,732万8,360円	1,732万8,360円	0円
病院事業会計	収益的収支	98億1,020万5,491円	105億3,147万2,840円	▲7億2,126万7,349円
	資本的収支	5億935万4,000円	8億7,217万4,385円	
下水道事業会計	収益的収支	21億4,048万3,651円	21億363万6,723円	3,684万6,928円
	資本的収支	13億2,465万6,700円	19億2,895万8,426円	

私はこう考える！ 討論で「賛成」「反対」

発議第10号 物価高騰対策として消費税率の引下げを早期に行うことを求める意見書（案）

反対 小田 伸次 議員（三輝会） 三次市にとっても重要な財源である

この消費税は国からの交付税等として三次市へも配分されており、令和7年度でいうと、約7億円の額が社会保障の財源に充てられている。消費税は社会保障を継続していく上で大変重要な財源である。減税することは、地方財政を守るためにも適当ではない。

反対 藤井 憲一郎 議員（三輝会） しっかり本質を見極めるべき

消費税減税は買い控えなどの緩和に効果はあると思うが、消費意欲低迷の根本的な解決には至らないと考える。加えて税率変更に伴うレジ改修等は、本市の企業にも負担増となる。地方議会の議員として耳ざわりのいい言葉に流されるのではなく、しっかり本質を見極めなければならない。

賛成 新田 真一 議員（会派 未来） 地方経済を守る積極的な姿勢を

消費税を下げ、消費者の購買意欲を上げていく。それによって得られる大きな税収もあるのではないか。地方経済を守っていくという積極的な姿勢に我々政治家は立つべきである。



提案理由を説明する伊藤議員

9月定例会 審議結果（全員一致以外のもの） ○…賛成 ×…反対

発議第10号 物価高騰対策として消費税率の引下げを早期に行うことを求める意見書（案）

会 派	三 輝 会							清 友 会					明日への風				会派 未来		公明党		真正会	日本共産党
議員名	小田	横光	弓掛	藤井	月橋	國重	細美	穴戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	新田	竹田	中原	片岡	鈴木	伊藤
可 決 (賛成多数)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○

発議第11号 小規模特認校の具体を速やかに明らかにすることを求める決議(案)が全員一致で可決されました。

要 旨

三次市では「三次市立小中学校のあり方に関する基本方針」が本年3月に策定され、今後、学校の再配置計画に基づき、小中学校の統廃合が順次進められているが、「学びの選択肢の広がり」に位置付けられている小規模特認校についての詳細が明らかにされていない。このことから、この制度が誤解を含みながら一人歩きしている状態にあり、子どもたちや保護者、地域住民の中で大きな不安や混乱を生じさせている。



決議文を読み上げる
新田議員

- ①市においては、子どもたちや保護者、地域住民の不安と混乱が一刻も早く解消できること、あわせて、市民全体でそのことが議論できるよう速やかに小規模特認校の具体を明らかにすること。
- ②小規模校の設置に関しては、子どもたちがきめ細やかな指導や特色ある教育が受けられ、充実した学校生活が送れるといった目的が効果的に達成できるよう、地域内に設置を求める声を十分に受け止めるとともに、市域全体を視野に、様々な課題の解決が図られるよう検討されたい。



三輝会

ゆみ かけ げん
弓掛 元

動画



質問
1

三次地区にぎわい創出は

「巴峽三次かわまちづくり計画」が策定され、三川合流部の整備が大いに期待できる。元松原公園は昔、大変賑わっていた。素晴らしい風景で、水道・電気・トイレもあり、出店ブースの設置は低コストで実現可能であるがいかがか。



三次の三十六景之内四百年の歴史に
夕涼みの図（行政豊彦氏作）

答弁
1

地元事業者などと連携した出店ブースの整備を検討していく

濱口建設部長

「巴峽三次かわまちづくり計画」は今年度から令和11年度までの5年間の計画である。この計画期間の中で、地元事業者などと連携した出店ブースの整備について検討していきたいと考えている。

質問
2

学校設置条例改正案の修正案可決の影響は

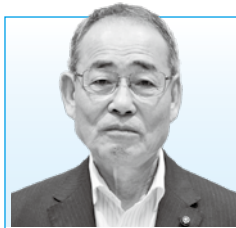
6月定例会において、議会の修正案可決により君田中学校は学校設置条例に残ったままとなった。このことは、子どもたちや地域にどのような影響があるのか。学校再配置は子どもまんなかで進めるべきではないのか。市の見解を伺う。

答弁
2

具体的な利活用策の検討や進捗に支障が生じている

宮脇教育部長

君田自治区連合会からいただいた要望のうち、「再配置後の学校の利活用」について、現在の状況では円滑に実現できないこととなる。君田自治区連合会においては、子どもたちを支えるとともに地域活性化を進めようと、学校再配置後の跡地の有効利用について前向きに検討を進められている。市としても、可能な限り協働・伴走したいと考えているが、条例の未改正があるため、具体的な利活用策の検討や進捗に支障が生じているのが現状である。



日本共産党

いとう よしの り
伊藤 芳則

動画



質問
1

小中学校の再配置計画の不安解消は

再配置という名のもとに、統廃合を進めているのではない。一方的な説明会では保護者や地域の不安は解消できていない。小規模校を選択して通学させている保護者はどうすればいいのか、不安は増すばかりである。今後どう進めていくのか。



合同体育祭（河内地域）

答弁
1

丁寧な議論と説明、意見交換を進めていく

迫田教育長

学校再配置の基本方針については、「学校は、すべての子どもが自立して社会で生き、個人として豊かな人生をおくることができるよう、その基礎となる力を培う場としての教育施設」であり、その魅力化を進めることを基本に説明を行ってきた。一度の説明や意見交換で十分にご理解いただくことは難しいということも承知している。引き続き、丁寧な説明とともに意見交換を行っていく。

質問
2

小規模特認校制度の計画見直しが必要では

小規模特認校1校の設置計画では、本市は広域であるために、地域によっては通学が大変である。コミュニティ・スクールを進めて学校と地域が一体的に取り組んでいくことで、複式学級の小規模校も特認校として残すことが過疎対策にも繋がると考えるがいかがか。

答弁
2

基本的な考えを基に、1校設置の計画を進めている

迫田教育長

学校再配置の基本方針では、「小学校はすべての学年で単式学級とし、1学年の児童数は10名以上とする」ことを基本として、小学校の完全複式学級の解消を最優先で行うこととしている。こうした環境をまず整えていく中で、大きな集団になじみにくい子どもを対象とした小規模特認校を設置することとしており、完全複式校をそのまま小規模特認校に移行することは考えていない。また、基本方針に基づいた再配置実施後も、市内のほとんどの学校は小規模校である。再配置を進める中で、関係地域間での新たなコミュニティ・スクールのあり方について、関係者の皆さんと熟議を重ねていく。



三輝会

くに しげ 国重 清隆

動画



質問
1

三次市農業振興プランの方向性は

環境保全型農業の推進や持続可能な農業の実現を、現在策定中の「第3期三次市農業振興プラン」にどのように反映させ、農業者に示し、農業振興を図ろうとしているのか伺う。

答弁
1

持続可能な地域農業の確立に主眼を置いたものとする予定

児玉産業振興部長

基本的には第2期三次市農業振興プランの方針を踏襲し、持続可能な地域農業の確立に主眼を置いたものとするよう予定している。それに伴い、幅広い農業者に向けたアンケートの実施、また県やJAといった関係機関、生産者団体には個別にヒアリングを行うこととしている。第3期三次市農業振興プラン策定後は、広く周知を図り、多くの農業者に知っていただけるよう努めていきたいと考えている。

質問
2

女子野球タウンの将来展望は

市内の高校に女子野球部が創設されれば、地元で野球が続けられ、卒業後も地元企業に就職し、三次ブラックパールズへの加入が期待される。3つの高校へ女子野球部の創設を働きかける考えはあるのか伺う。



練習に励む三次ブラックパールズ

答弁
2

市内の女子学生が入団する可能性に期待している

呑谷地域共創部長

環境整備や指導者の確保など相当な準備が必要となることもあり、今のところ市内3校への女子野球部創設の働きかけは行っていない。今後、野球を希望する女子学生がいれば、三次ブラックパールズの選手を15歳以上としているので、入団する選手が出てくる可能性もあると期待している。



三輝会

さい み 細美 克浩

動画



質問
1

常会が管理する集会所の維持は

人口減少・少子高齢化により、常会が管理する集会所の維持が課題となっている。加入世帯数の減少に伴って、一軒あたりの負担が増加しているため、広島県水道広域連合企業団への水道料金改定の要請や、集会所の下水道使用料を市内統一にする考えはないのか伺う。

答弁
1

維持管理費の助成は考えていない

呑谷地域共創部長

広島県水道広域連合企業団の料金設定には、集会所の事情により料金改定ができるという基準はないと伺っており、現時点での要請は難しいと考えている。

答弁
1

集会所施設のみを先行した使用料体系の統一は困難である

濱口建設部長

将来的に特定環境保全公共下水道、農業集落排水の使用料算定方法を従量制に移行し、公共下水道を含めた3事業の使用料体系を統一することを目標としているため、現時点で集会所のみを先行して統一することは困難だと考えている。

質問
2

使用されていない旧校舎や旧保育所の再活用は

動物愛護の観点から、市内で増えている野良猫の一時預かり施設（シェルター）として、旧校舎や旧保育所を再活用する考えはないのか。民間事業者がシェルターとして利用を希望する場合、助成制度等はあるのか。

答弁
2

十分な検討が必要であるとする

松本市民部長

責任ある適正な飼い方や管理がされていない猫が多くいるなかで、一時避難施設を設置することは、結果として人と動物との調和のとれた共生社会の実現につながらない懸念もあるため、現在のところ猫シェルター等を設置することは考えていない。仮に民間団体等から利用の申出があった場合には、市の方針との整合性や事業の継続性、地域の理解を十分に考慮した上で利用の可否や使用料等の減免について検討していくようになると考えている。



清友会

やす ざね おさむ
保実 治

動画

質問
1**人獣共通感染症の対策を**

本年「SFTS」の感染者数が過去最多となり、県内でも死者が出ている。マダニはシカやイノシシなどの害獣が生息する地域に多く見られる。市民が安心して住み続けられるよう、獣医師会と医師会の情報共有を可能にするなど、市が中心となった連携強化が必要では。



タサゴキララマダニ成虫（背側）

※人獣共通感染症：動物からヒトへ、ヒトから動物へ伝播可能な感染症

SFTS：重症熱性血小板減少症候群（SFTS）はSFTSウイルスを保有しているマダニに咬まれることやSFTSを発症している動物との接触などにより感染。主な症状は発熱、消化器症状

答弁
1 **関係団体等と連携し、市民の健康被害防止に努めていく**

菅原福祉保健部長

本市としては、感染症法に基づく感染症発生動向調査事業により、広島県感染症・疾病管理センターが公表する感染症週報等を注視し、感染対策を強化すべき際には、広島県北部保健所の指導を仰ぎながら、医師会、獣医師会、関係部署と連携し、市民の健康被害防止に努めていきたいと考えている。

質問
2**ペット同行避難の周知は**

災害時、本市ではペット同行避難を推奨しているが、市民への周知が不十分であると感じている。衛生面や動物アレルギーの人への配慮が必要であると考え、注意事項を記載した「ペット防災ハンドブック」を作成し、配布してはどうか。

答弁
2**ホームページ等での周知を検討していく**

山田危機管理監

他の自治体事例も参考にしながら、動物愛護に係る担当課と連携の上、ハンドブック的なものを作成し、ホームページ等で周知を図ることは検討していきたい。



清友会

しげ のぶ よし のり
重信 好範

動画

質問
1**職場体験学習が進路選択に生かされているのか**

職場体験は、生徒が地域にある職場で実際に仕事を体験し、働く人々と交流することで自己と社会について多様な気づきや発見をすることで、主体的に進路を決定する態度や意思、意欲等を培う学習である。この体験が進路選択に生かされているのか伺う。



職場体験中の中学生

答弁
1**学校全体の活性化や下級生への良い刺激になっている**

豊田教育部次長

職場体験をきっかけに、将来この職種につきたいという具体的な進路希望が明確になる生徒もいる。また、体験先の事業所の方の話や助言から学習意欲や進路への意欲が高まり、進路について主体的に考えようとする生徒が増え、学校全体の活性化や下級生への良い刺激にもなっている。

質問
2**小中学校の再配置計画の説明が不十分では**

保護者や地域との意見交換や具体的な説明が不十分であるという市民の声を受け、6月定例会において君田中学校廃止の条例案を修正するに至った。その後、市長、教育長から丁寧な議論をしていくと説明があったが、対応が何も変わっていないとの声がある。市としてどのように取り組んでいくのか。

答弁
2**引き続き対話を重ねていく**

迫田教育長

学校再配置の基本方針について、各地域の初回の説明会においては、まずは趣旨と内容をご理解いただくことを目的として行った。基本方針の策定に至った背景や児童生徒数の減少の状況、また三次市の学校教育を取り巻く現状や課題、そして魅力ある学校づくりに向けた基本的な考え方等、めざす教育環境について説明した。具体的な対応を次の機会に説明するなどの対話を重ねながら、引き続き丁寧に説明や協議を行っていく。



明日への風

ふじ おか かず ひろ
藤岡 一弘

動画



質問 1 学校の再配置に関する説明会で出された質問や意見をどう受け止めているのか

現在、保護者や地域に対する学校の再配置に関する説明会が開催されている。再配置に賛成の意見や反対の意見、子どもや地域への影響を心配する意見など、様々な質問や意見が出されているが、市としてどう分析し受けとめているのか。

答弁 1 地域や子どもたちの将来に対する真摯な思いの表れと受け止めている

豊田教育部次長

通学や制服などの生活環境に関する意見や不安、異なる学習環境となる児童生徒への影響についての意見や懸念、さらには再配置そのものに対する反対や地域の衰退を危惧する意見など、幅広い意見をいただいている。これらについては、関連する項目ごとに意見を分類し内容の整理を行っている。

出された意見は、地域や子どもたちの将来に対する真摯な思いの表れと受け止めている。

質問 2 ごみの広域処理連携による市民生活への影響はないのか

現在、三次市、安芸高田市及び北広島町で、ごみの広域処理連携の協議が行われているが、2市1町のごみ捨てのルールなどが異なることから、市民生活に与える影響はないのか伺う。



老朽化が懸念される三次環境クリーンセンター

答弁 2 直接の市民生活に影響はないと考えている

松本市民部長

自治体間で燃やせるごみの一部品目が異なるものもあるが、処理には問題なく、分別の変更は考えていない。また、燃やせるごみの搬入についても、これまでどおりクリーンセンター等を計画しており、広域処理を行うことでの直接の市民生活に影響はないものと考えている。



明日への風

かけ だ かつ ひこ
掛田 勝彦

動画



質問 1 誰もが安心して暮らしていくための身近な公共交通はどうあるべきか

車を運転できるうちは自由に移動できるが、加齢とともに心身機能や認知機能は衰えていき、免許証を返納せざるを得ない。移動手段が制限される中で、安心して暮らしていくためには新たな公共交通を確保していく必要があると考えるが、今後の具体的な方針や取組を伺う。



市民バス吉舎町線「よっしゃ吉舎」停留所

答弁 1 地域の実態に応じた移動環境づくりを推進していく

呑谷地域共創部長

本市では、路線バスや市民バスの維持や利用ニーズに応じた改善や相乗りタクシー事業の推進、市民が主体となった自家用有償旅客運送の運営に係る支援を行っている。地域からの要望があれば、市民バスのデマンド化も選択肢となり、高齢者福祉等の担当部署とも連携が必要だと考えている。その他、ライドシェアなど新しい仕組みも広がっており、引き続き情報収集を行っていく。

質問 2 税収入を増やすために投資を行う考えはあるのか

人口減少に伴い税収入が減っていく中で、新たに自治体が金を稼ぎ、税収入を増やしていかななくてはならないと考えるが、本市では何かに投資をする考えはあるのか。あるとすればどこに投資をしようとしているのか。市の見解を伺う。

答弁 2 持続的な財源確保に努めていきたい

笹岡経営企画部長

健全な自治体経営と持続可能なまちづくりに取り組むためには、歳入の確保と歳出の抑制の双方に努めていくことが必要であると考えている。今後も事業の見直しや公共施設の適正化など、経費節減や行政運営の効率化に取り組むとともに、道路や上下水道などの生活基盤整備、企業誘致、特産品の振興などを推進し、持続的な財源確保に努めていきたいと考えている。



明日への風

増田 誠宏

動画



質問 1 小学校の統合は慎重であるべきではないか

作木町では、再配置後に場所によっては1時間を超える遠距離通学となり、児童への影響が懸念されるが、再配置計画の見直しは、どのような場合を想定しているのか。小学校については、完全複式学級が解消された場合に対象から外れるのか伺う。



再配置対象校の一つである作木小学校

答弁 1 長期的な視点に立ち現在の計画に沿って取組を進めていく

迫田教育長

学校再配置計画の見直しについては、現在の想定内容を超えて、児童生徒数の大きな増減や教育環境の確保に関して状況が大きく変化するなど、想定外の状況が生じた際は見直す場合はあると考えている。仮に、完全複式学級というのが一時的に解消されても、人口減少が進む中で再び完全複式学級になることが想定されるため、軽々に見直しをすることは考えていない。

質問 2 まちづくりトークや説明会での意見をどのように受け止めるのか

学校再配置をめぐる関係者の声に対し、理解や共感の表明にとどまるのか。それとも再検討や見直しにつなげ、必要に応じて計画に反映するのか。市長、教育長として、これらの声をどのように受け止め、対話と透明性ある行政運営をいかに進めていくのか。

答弁 2 率直な思い、願いであると真摯に受け止めている

迫田教育長

各地域での意見は、率直な思いや願いであり、取組課題として真摯に受け止めている。今後も、多様な形で保護者や地域住民との対話は継続していく。適宜、教育委員会会議でも進捗状況や情報を共有し、協議が必要な場面があれば行う。基本方針に基づいて、双方の納得解を見つけていく努力を誠実に粘り強く取り組む。



明日への風

徳岡 真紀

動画



質問 1 学校における子どもたちの熱中症対策は

年々、夏の最高気温が上がり、熱中症警戒アラートが頻発する中で、登下校を含めた子どもたちの学校における熱中症対策を、さらに強化する必要があると考えるが、本市の取組を伺う。



下校時の暑さ対策にも有効なクーリングスペース(雲南市)

答弁 1 基本的な熱中症対策の指導や対策を行っている

豊田教育部次長

各学校では、帽子や日傘等により直射日光を遮る工夫や、ネッククーラーや冷感タオル等、体を冷やすクーリング用品の使用を認めるなどの指導や対策を行っている。中学校では、部活動後に、涼しい部屋でクールダウンをしてから帰宅させることや、水分・塩分を適切に補給して休憩を取るなど、基本的な熱中症対策についての指導を繰り返し行っている。

質問 2 本市の発達支援の方向性は

本市でも発達に支援が必要な子どもたちが増加しており、それに対する環境整備と社会の理解が急務だと考える。こども発達支援センターのあり方を含めた、本市の発達支援の方向性について伺う。

答弁 2 必要に応じて適切な支援につないでいく

細美副市長

子どもの発達支援については、子ども本人を支援の輪の中心に捉えて、様々な関係者や関係機関が連携を密にし、情報を共有することにより、課題のある子どもに対して理解を深めることが必要である。こども発達支援センターでは、これからも丁寧に幅広い相談に対応し、必要に応じて適切な支援につないでいくという役割を担っていきたいと考えている。



公明党

かた おか ひろ ふみ
片岡 宏文

動画



質問 1 医療的ケア児の災害時の個別避難計画はできているのか

近年は線状降水帯により、短時間で降水量が増えるケースが増加傾向にあり、避難行動を迅速に行う必要がある。医療的ケア児については迅速な対応が困難であると考えるが、災害時の個別避難計画はできているのか。



令和7年4月に発行されたガイドブック

答弁 1 個別避難計画の作成を進めている

山田危機管理監

現在、市で把握できている医療的ケア児については、個別避難計画の作成の取組を進めているところである。

質問 2 医療的ケア児の避難訓練はできているのか

医療的ケア児については、雨天時など、特に医療器具が濡れないための配慮が必要である。速やかな避難には平時での訓練が必要であると考えるが、現在の実施状況を伺う。

答弁 2 医療的ケア児に特化した避難訓練は実施できていない

山田危機管理監

現時点で医療的ケア児に特化した避難訓練は実施できていない。個別計画の作成を進める中で、家族と自主防災組織等の避難支援関係者のつながりを作り、災害の種類や規模に応じた避難先の検討、避難後の対応の検討、そして避難訓練の実施につなげていきたいと考えている。



会派 未来

たけ だ けい
竹田 恵

動画



質問 1 小中学校の統廃合の考えは

児童生徒、保護者、地域住民の理解、地域の活性化、定住移住対策など、課題を解決した上で統廃合を進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

答弁 1 協議や説明は今後も必要だと考えている

迫田教育長

現在、各地域の保護者や地域の皆さんに、学校再配置の基本方針の趣旨や目的、具体的な計画も含めて説明を進めている。多様な質問や意見を聞かせていただいている中で、基本方針においては、「保護者、地域住民と丁寧な議論を行い、理解と協力を得て進めます」と示しているとおり、今後も説明や協議を継続する。

答弁 1 新しい取組等を含めて、まちづくりに取り組んでいく

呑谷地域共創部長

今回の学校の再配置は、全ての児童生徒にとって魅力ある学校づくりの実現に向けて、子どもたちの学びの環境を最優先に進められているものである。その後のまちづくりについては、新しい取組等を含めて課題として取り組んでいくべき内容であると考えている。

質問 2 放課後児童クラブの民間委託に向けての取組は

民間委託を検討するにあたり、2026年4月実施に固執することなく、十分な時間をかけて保護者、関係者等への丁寧な説明が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答弁 2 事前通知やアンケート調査、意見交換に取り組んでいる

宮脇教育部長

保護者の不安につながらないよう、事前に文書でお知らせしている。あわせて、保護者を対象としたアンケート調査も行い、その際には、保護者が懸念される内容について、Q & A方式で記載もしている。このアンケート結果は、民間委託の仕様書の参考にもしている。また、児童クラブの運営を担っている支援員とも意見交換をしている。これらを踏まえて総合的に勘案し、具体的な方針が決定すれば、あらためて丁寧な説明をしていきたいと考えている。



行政視察レポート

総務常任委員会

荒尾市のAIオンデマンドタクシー「おもやいタクシー運行事業」は、AIを活用した予約型相乗りタクシーで、民間のタクシー業者とのすみ分けもでき、利用者は増加傾向であった。

また古賀市のAIオンデマンドバス「のるーと古賀運行事業」は、バスとタクシーの間の8人乗りワゴン車を導入し、乗降場所を路線バスよりきめ細かく設定し、利用促進を図っている。タクシー事業者とは通常の業務を圧迫しないように事前に綿密な協議が必要であると課題提起があった。

合志市の、株式会社こうし未来研究所は、行政をはじめ商工会や銀行、大学などの13者が

参加し、うち8者は地域連携協定を結ぶ、まちづくり会社である。公益性を保ちながら、①地域づくり・まちづくり関連事業 ②空き家対策事業 ③公共公益施設の活用・管理運営事業 ④市街地開発・企業誘致活動事業をスピード感を持って進められている。また、合併により使われなくなった旧庁舎を官民連携でテナントビル化し、企業支援・創業支援に活用されており、普通財産の活用策について大いに参考となった。
(委員長 伊藤 芳則)

時 期／令和7年7月30日(水)～8月1日(金)

視 察 先／熊本県荒尾市・合志市

福岡県古賀市

視察内容／AIオンデマンドタクシー「おもやいタクシー」

AIオンデマンドバス「のるーと古賀」

株式会社こうし未来研究所



株式会社こうし未来研究所での視察

教育民生常任委員会

本委員会では、今年度「学びの多様化学校」を開設された、福岡県宇美町の行政視察を行った。

宇美町においては、不登校の児童生徒が増加している現状があり、すべての児童生徒の学びの進路実現、また保護者の負担軽減の必要性から「学びの多様化学校」の設置に取り組まれている。

設置までの経過、特に文部科学省との申請手続きや予算措置など、1年間で取り組まれた経過がよく理解できた。昨年4月に赴任された教育長が多様化学校導入の決断に踏み切り、5月には設置に向けた具体的な取組が実現できたの

は教育長をはじめとした、教育委員会の並々ならぬ努力であると感じた。特に児童生徒や保護者への情報提供、何度も協議の場を設けるなど丁寧に対応されており、開設にあたっては地域や関係者との関わりも含め、そういった過程が重要であると感じた。

(委員長 新田 真一)

時 期／令和7年7月30日(水)～8月1日(金)

視 察 先／福岡県大木町・糸島市・宇美町

視察内容／おおき循環センターくるん

小規模特認校

学びの多様化学校



宇美町教育長による説明

広報広聴常任委員会

呉市議会では令和4年度から議会だよりのリニューアルをされ、市民に「伝える」から「伝わる」広報紙として、よりわかりやすい紙面づくりをめざしている。実際にインターンシップで来られた学生から提案された、「若者の興味を引くように、議会だよりの表紙にQRコードを掲載しては」といったアイデアも取り入れている。また議会報告会に取り組んでおり、市内の高校や地域住民と積極的に交流を図っている。

また周防大島町議会では議会活動の様子や町の情報を町民にわかりやすく、写真をふんだん

時期／令和7年8月7日(木)～8月8日(金)

視察先／広島県呉市

山口県周防大島町

視察内容／議会だよりの紙面構成・取材方法(住民参加型)
議会報告会「みんな教えてクレ～議会意見交換会」
広報広聴の取組(議場見学ツアー・出前授業)

に使用した議会だよりを作成されており、特に紙面に多くの児童生徒を掲載されているのが特徴的であった。

今回学んだ取組は、本委員会で振り返りを行い、今後の紙面づくりや議会報告会に生かしていく。
(委員長 重信 好範)



呉市議会では紙面づくりを学ぶ

議会のうごき

2025(令和7)年8月1日～10月31日

8月

- 5日 会派代表者会議、教育民生常任委員会
- 7日～8日 広報広聴常任委員会行政視察
- 12日 産業建設常任委員会
- 19日 議会運営委員会、議会活性化等検討特別委員会
- 21日 議会運営委員会、産業建設常任委員会、教育民生常任委員会
- 27日 市議会トピックス出演(広報広聴常任委員会)、教育民生常任委員会
- 29日 議会運営委員会

9月

- 1日 令和7年9月定例会本会議、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
- 2日～4日 9月定例会本会議(一般質問)
- 5日 3常任委員会(議案の調査研究)
- 8日 産業建設常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 10日 教育民生常任委員会
- 11日 予算決算常任委員会、教育民生常任委員会
- 12日 予算決算常任委員会
- 16日～17日 予算決算常任委員会
- 18日 予算決算常任委員会、会派代表者会議
- 19日 議会運営委員会、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
- 22日 予算決算常任委員会
- 24日 予算決算常任委員会、市議会トピックス出演(総務常任委員会)
- 26日 議会運営委員会、9月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会

10月

- 6日 議会運営委員会
- 10日 議会活性化等検討特別委員会
- 14日 広報広聴常任委員会
- 15日～17日 産業建設常任委員会行政視察
- 19日 とびだせ議会!(出張意見交換会)
- 20日 広報広聴常任委員会
- 22日 市議会トピックス出演(教育民生常任委員会)
- 23日 産業建設常任委員会
- 29日 議会運営委員会
議会活性化等検討特別委員会

行政視察受入状況

- 8月 5日 広島県安芸太田町議会
(広報及び広聴活動の取組について)
- 6日 兵庫県豊岡市議会(議会改革の取組について)
- 10月7日 鹿児島県垂水市議会(森林整備について)
- 10日 福岡県大牟田市議会・筑後市議会・八女市議会
(備北メディカルネットワークについて)
- 17日 千葉県山武市議会(女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタlab.」について)
- 28日 東京都目黒区議会(任期中の議会・議員活動検証方法の構築について)
- 熊本県宇城市議会(女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタlab.」について)
- 29日 徳島県石井町議会(流域治水の取組について)

最新の議会日程は
こちら





次回の定例会は**11月28日(金)**に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、11月17日(月) 正午まで

請願・陳情…市政についての意見や要望を直接市議会に提出することです。
議員の紹介のあるものを請願と言います。

いいね
みよし

議員が市内で撮影した、
お気に入りの写真をご紹介します

神杉地区敬老会
《横谷子ども神楽団》



森のようちえん「たねっぼ」
(河内地区)



稲刈り体験会(三和町)



福六サロンで落語を披露した
八幡小学校の児童(吉舎町)



あ と が き

9月定例会では、決算審査での結果や問題点を予算の拡充や見直しにつなげる新たな取組として、総務・産建・教民の各分科会において、DX推進事業(SHIBUYA QWS活用)・ひとり親家庭自立応援プロジェクト事業・観光戦略推進事業(DMO)についての、成果や評価、また改善に関する意見を集約した討議シートを作成しました。この討議シートにより、議会の考えが明確になり、そしてより多くの人に知ってもらう事が出来ます。

今後も、市民の方々のご意見や思いを反映させる為に、皆様の声を大切に議会活動に努めてまいります。(山田 真一郎)

注目スポット

本西 ふれあい 産地直売所 (甲奴町)



この夏にオープンした甲奴町のカーター通りコミュニティセンター横の無人販売所。じゃがいも、トマト、ナス、ピーマン、カボチャ、ゴボウ、ズッキーニなど多種多様な新鮮野菜を毎日販売しています。冷蔵庫も完備しており、ホウレン草、アスパラガス、ぶどう、ミョウガなども旬の時期に販売され、午前中に完売することもあります。生産者と消費者をつなぐ、甲奴の新しい取組です。(月橋 寿文)

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp